



NO. 941  
 発行  
 2018年  
 4月15日  
 国鉄労働組合  
 新潟地方本部  
 発行責任者  
 加藤 秀夫  
 編集責任者  
 教 宣 部

# 組織拡大と労働条件の改善

## 第31回新潟地方貨物協定期委員会の開催

国労新潟地方貨物協は、第31回定期委員会を4月7日地本事務所で開催しました。  
 池田副議長の開会あいさつでスタートし、委員4名中全員の出席を確認、定期委員会が成立したことが宣言されました。

議長選出については例年通り貨物協議長を定期委員会議長にして委員会の議事を進めました。



委員会は、勝山議長のあいさつ、地本からは福富書記長のあいさつがあり、関東貨物協からは因泥議長からあいさつがありました。



### 勝山議長がいさつ

貨物会社社員は厳しい状況になっているのか。会社は人員の確保をしているのか。若い人から、選ばれる会社になっているのか。



### 福富書記長 あいさつ

○春闘について～地本では、ハガキ・ファクス行動の実施など取り組んできた。19年ぶりのペア300円だったが、19年の苦労はどうだったのか。

○組織拡大について、貨物会社に新採者が182名、採用された。新潟にも配属されるのか。国労加入に向けて取り組んでいく。喫緊の課題だ。

○機関車に使用している「けい砂」が有毒なので旅客会社は「けい砂」を取り扱わず変更する。貨物会社はどうなのか。

○東労組の動向について、2万人の脱退が出ている。36協定について・職場で社員代表の選出に国労も出すのか。

さまざまな課題が山積している、組織拡大の取り組みを中心に地本全体が総団結しがんばっていこう。

会社は、本当に良い会社にしていくという意識があるのか。どうか。  
 貨物や旅客会社の雇用状況など不安がある。みんなのための組織としていきたい。国労としてのスタンスを守っていきたい。



その後、方針案の提案があり質疑・討論になりました。  
 定期委員会の委員は4名なので各委員から現場の状況や問題点など出されました。

## 全体の意見

○出向先の会社の労働条件は厳しい状況にある。賃金も安い。  
 職場の若年退職があった。若手社員が辞めていく。職場の要員が足りない。  
 祝日が増えてはいるが、年間休日が増えない。貨物会社は年間休日108日から増えていない。

●新採者が現場研修で全体で194人が見学に来る。4月10日〜12日。検査周期の延伸について各現場の実態はどうなっているのか。



○「ときてつ」の運転業務は夜間無人になる。乗務員の出退勤などはタブレットで確認している。

●7月に55歳になるので出向解除になる。今までは旅客会社へ出向していた。7月から東新潟機関区に戻ることに。支店は出向解除だけしか説明していない。本人希望について聞かなかった。

# 「潮干狩り」交流会

## 5月31日

### 千葉県木更津市 木更津海岸中之島公園

○関東貨物協でレクレーションが企画されました。参加希望の組合員は地本まで連絡ください。



○偽装請負について、現場は変わってきている。偽装をやっていたが少し変わったところが出てきた。



●年休調査の取り組みについて、各現場の年休取得状況の調査を実施する。



# 因泥議長あいさつ

## 社員に還元していない

三島・貨物は、JR各社と格差が大きくなっている。貨物会社は8期連続の黒字だ。春闘の総括では他労組を巻き込んだ闘いが取り組まれた。1498筆の署名・ハガキ行動は313枚、ファクスは100枚を越えた。

19年ベアゼロは絶対に認められない。各取り組みから会社側はベアを19年ぶりに300円の回答となった。社員に対して黒字化の還元はしていない。会社は黒字化だけを考えている。公共交通の重要性など含め国交省へ要請行動を強化した。

## 7割がJR採用者

組織拡大し現在、職場では7割がJR採用者になっている。新採者は貨物労組へ大幅に加入している。国労は何でも相談できる人間関係から国労加入へ結びつける。出向先の会社で国労加入があった。

東労組は現在、26000人の脱退が出ている。組織に対して信頼が無い。



要員不足で労働強化になっている。ダイ改提案時、職場の要員配置が完璧な状態になっていない。ただの数合わせだ。会社側は要員不足を認めている。謝っている。冬季体制で、444Mの立往生の問題については、要員不足と技術力の低下だ。

# 編集後記

4月に入りました。花見に行かれましたか？今年は何年にもくらべ開花が早かったそうですね。しかし開花してから天候が良くなくて寒く雨も降って厳しい日が続きました。

7日に信濃川の河川敷・やすらぎ堤の桜を見に行ってきました。桜は満開でしたが風が強く肌寒い日でした。途中から雨が降ってきて・・・今シーズンには、花見で一杯という気分にはさせてくれませんか。



今年のメーデー・統一メーデーが開催されます。5月1日、県民会館で1700人規模で開催されます。新潟県は総がかり行動でさまざまな課題で、統一した取り組みが進められています。

